

# 明治維新一戊辰戦争

山内豊信らの反対を圧力で抑え、小御所会議は徳川慶喜の辞官納地を決めた。さらに薩摩藩は旧幕府勢力への挑発行為を重ね、旧幕府勢力の武力行使を煽動した。狙い通り、慶喜は薩摩藩追討に挙兵した。戦いが進行すると、慶喜は天皇による新政府に背いた「賊」として扱われ、正義の名の下に追われる身となった。

## ○戊辰戦争

### ●新政府の目下の課題

1867年12月9日、<sup>(1)</sup> \_\_\_\_\_ で新政府が樹立した。

⇒新政府は、次の2つの実現を目指した。

- ①約1年半にわたる旧幕府勢力との戦争<sup>(2)</sup> \_\_\_\_\_ への勝利
- ②天皇を中心とした、国民の意見（公議世論）を反映できる政治への刷新

↓  
開国から新政府樹立を経て①②達成に至る激動を<sup>(3)</sup> \_\_\_\_\_ と呼ぶ。

### ●戊辰戦争 | 1868年1月～69年5月

元15代将軍<sup>(4)</sup> \_\_\_\_\_ は、新政府から挑発行為を受けた。

⇒旧幕府勢力の怒りも限界に達し、(4)は新政府との戦争を決意した。

↓  
1868年1月、<sup>(5)</sup> \_\_\_\_\_

…旧幕府の兵が、京都近郊で薩摩藩・長州藩の兵と交戦し、敗退した戦い

…敗れた(4)は江戸へ敗走

…この機に(4)が朝敵と決まり、追討のための東征軍（官軍）が結成

↓  
1868年4月、東征軍参謀<sup>(6)</sup> \_\_\_\_\_ と幕臣<sup>(7)</sup> \_\_\_\_\_ の交渉で、

<sup>(8)</sup> \_\_\_\_\_ 城が無血で（戦闘を交えず）新政府に明け渡された。

◇明け渡し後、上野寛永寺で彰義隊が東征軍に反抗し、1日で敗退

↓  
新政府は、降伏した旧幕府勢力への追討を止めなかった。

→東北の諸藩は、新政府の不義を責め、<sup>(9)</sup> \_\_\_\_\_ を結成した。

⇒1868年9月、(9)の中心の会津藩が東征軍に敗れ、同盟は崩壊した。

↓  
1869年5月、旧幕府海軍<sup>(10)</sup> \_\_\_\_\_ が、箱館の<sup>(11)</sup> \_\_\_\_\_ で降伏した。

⇒約1年半にわたる戊辰戦争が終わり、新政府が国内をほぼ統一した。

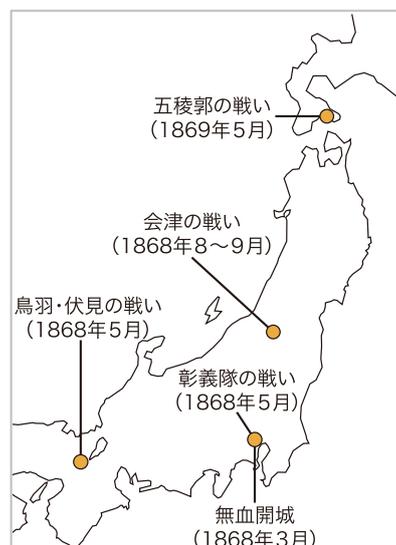


図1 戊辰戦争



図2 明け渡しの交渉  
(左：西郷隆盛／右：勝海舟)



図3 五稜郭の航空写真

### 「偽官軍」の汚名—赤報隊

鳥羽・伏見の戦いで、薩摩藩の本営に天皇側の軍「官軍」を示す「錦の御旗」が掲げられ、慶喜側は賊軍として追われた。相楽総三を隊長とする赤報隊が、東征軍の先鋒にあたり、新政府の許可を得て、幕領での年貢半減を布告しつつ東進した。新政府は、人心の掌握を狙った。しかし、後に新政府は年貢半減を密かに取り消し、相楽らを「偽官軍」として処刑した。

